

紙加工品製造業における死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	起因物 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	9～10	移動途中、被災者はロット終了板を載せ忘れたことに気付き、コンベア中央側に体の向きを変えようとし、ローラーコンベア上に足を踏み出してしまい、機械操作側に転倒し右手を床面につき、被災した。	26	166	2	100～299
2017	1	7～8	ワンタッチグルアー（糊付機）のシート押え板（長さ1050mm、巾30mm）を下の搬送ベルトの上に移動しようとして、左足を機械台の上で右足を機械側面台に上った姿勢で糊ポット用シャット20Φカット溝あり（7.5mm）左回転しているものに伸ばしている右腕カバーが接触して、防寒着とともに巻きこまれた。	66	169	7	30～49
2017	1	10～11	会社の作業場で品物の落ち運び移動をしていたとき、足がパレットに引っ掛かり、手をつかず膝から床に転んでしまった。	42	379	2	30～49
2017	1	12～13	当社北側に設置してある印刷機で製袋を担当している被災者は、セメント袋の印刷をしていた所、インキののりが悪くなってきたので調整中に回転しているギアに挟まってしまい、左手ヒジ下より切断してしまった。	68	166	7	10～29
			納品先倉庫内にて、被災者、リフトマン、共同作業員（3名）の5名で荷降ろし作業を開始。リフトマンがパレット積みされた製品をフォークリフトで倉庫2階（高さ約3m）へ持ち上げ、被災者はパ				

2017	1	10～ 11	レットから製品を一旦2階フロアに降ろす作業を行い、共同作業 3名、リフトマン（最後のパレットだった為、2階で作業を手伝う） の4名でそれを納品場所に積み込む作業を行っていた。パレット上 の製品を半分ほど積み替えたところで、共同作業者が物音に気付 き、1階部分を覗き込んだところ、被災者がフォークリフト横に墜落 していた。	32	418	1	～ 299	100
2017	1	4～5	製造2号ラインで、製品の工程検査実施後に、レアーエンド作業場か らレアー上作業台へ移動する際に、レアーエンドのステップ台から 足を踏み外し、ステップと手摺の隙間に足が挟まり転倒する。その 際、前方に設備してあった検査機の土台に左前頭部を打ち、受傷す る。	33	169	3	～ 299	100
2017	1	19～ 20	NCスロッター機の給紙時に紙送りが出来ないので、スイッチをOFF にせず手で押したところ、給紙と一緒にローラーに挟まれた。	32	169	7	～ 99	50
2017	1	14～ 15	紙製造角止機使用中、機械に親指をはさみ負傷した。	80	169	7	1～ 9	
2017	1	14～ 15	当社工場に於いて作業中、折箱製造の過程に折箱が機械にひっかか り無理して動かした際、右手人差し指が機械に触れ切傷骨折した。	49	169	3	～ 29	10
2017	1	16～ 17	作業場で、ウェットティッシュを巻いているローラーの機械の細か い部分に出てきた所に溜まったほこりを、しゃがんで掃除機で取り 除く作業中、立ち上がった時にかぶっている帽子で見えず、機械 （スイッチ箱）の角に額をぶつけた。	52	379	3	～ 49	30
2017	1	15～ 16	箱のステッチャー（テープ止めの機械）の作業中に、右手人差し指 を挟んだ。	34	169	7	～ 29	10
2017	2	14～15	被災者は、当社においてダンボールシートをカッターにて加工中、 誤って、カッターの刃を出したままシートをひっくり返したため左	68	364	8	～	10

			手指が刃に触れてしまい負傷する。				29
2017	2	13~14	商品配達時、停車中のトラック運転席横でロープを両手で持って立っていたところ、開いていたドアに後方から走ってきたトラックが追突し、大きく開いたドアが反動で戻り、首・肩・肘が叩き付けられ、そのドアに挟まれる。	58	221	17	10 ~ 29
2017	2	15~16	プリスロ印刷機において、インキの除去作業中に、インキ拭き取り用のウェスが、ロールとドラムの際間に巻き込まれ、同時に、右手を挟まれてしまった。	50	166	7	1~ 9
2017	2	12~13	工場内で不織布の折加工のケース詰めを担当していたので昼休みに段ケースを貼って準備していたところ、次の段ケースを取ろうとした際に貼っておいた段ケースに躓き腰を打ちそうになった為手をついた。痛みを我慢して、終業まで勤務し、帰りに病院へ行き骨折と診断された。	53	611	2	30 ~ 49
2017	2	14~15	倉庫内作業において、25kg紙袋包装作業を行っていたが、包装用機械の調子が悪く断続的に縫い外れ不良が発生した為、その都度、再度ミシン掛けを行い、コンベア上に投入する作業を実施していた。約10袋目を投入する際、腰に痛みを感じた。（徐々に痛みが強くなった。）	27	611	19	1~ 9
2017	3	15~16	工場の中の印刷機械において、インク洗浄中に落としかれなかったゴムロールに付着したインクをウェスで拭き取る作業中、機械を回したまま拭き取り作業をしてしまい、誤って回転しているロールに右手を挟まれた。	22	166	7	1~ 9
2017	3	14~15	印刷機にて印版セット時に送りロールを横移動させている際に、他作業者がマシン内を確認せずにロールを手動で回してしまい、ロールを指に挟まれ怪我をした。	45	166	7	50 ~ 99
2017	3	14~15	配達途中、バイクに乗り急発進してしまい、配達用の後ろに荷台があるバイクのため背面に後頭部を強打し、後頭部の腫れ、吐き気、	36	166	7	50 ~

			頭痛等を負った。				99
2017	3	21~22	当社工場内において、4tトラックから2tトラックへの積荷移動の作業中、フォークリフトで運ばれたパレットの上に積まれたダンボールシートに積み込もうとパレットに左足をかけようとしたら、パレットよりもダンボール数紙の方が大きかったため、ダンボール数紙の端っこの部分にもパレットがあるものと勘違いして左足を伸ばしたところ落下し、左足を強打した。	66	222	4	10 ~ 29
2017	3	15~16	当社工場内でフレキシダイカッターの印刷用インキの補充後、残ったインキの入った1斗缶を片付けようと不注意に持ち上げたとき、腰を痛めてしまった。	36	611	19	30 ~ 49
2017	3	10~11	事業所内において印刷機にアルミ原版（1300×900mm）をローラーに設置作業時に、アルミ茶版に右手を添えてローラーに設置の際、右手示指中指及び薬指をローラーに巻き込まれ負傷した。	55	166	7	10 ~ 29
2017	3	8~9	朝出荷の準備をしている時、トラックの荷物が荷くずれしそうになったため体の腰の部分がねじれ、腰の圧迫骨折となった。	70	611	19	10 ~ 29
2017	3	11~12	段ボール印刷機で印刷フィルムの交換時、踏み式スイッチでロールを動かして交換するが何回踏んでも動かなかった為、何度も踏み続けた時に急にロールが回転し、フィルムを押さえていた右手をフィルム取り付け側のロールとプレスロールの間に巻き込まれ、右手手指を骨折した。	20	166	7	100 ~ 299
2017	3	9~10	木造2階建て、新築工事現場で上棟中に、12tクレーンで2階の梁材を吊り上げ2階へ搬入中、被災者は梁をボルトで緊結作業を行う時に左小指が吊り荷の下側にあり、そのまま吊り荷が下がり、緊結金具に小指を挟まれて切傷および骨折した。	35	364	8	50 ~ 99
			廃棄物を箱から廃棄用コンテナに移し替える作業を行っていた際、フォークリフトで所定位置にセットした後、塵廃の入った箱を傾げるべく高さ80cmの天板付の脚立を登って行ったが、2段目のステッ				10

2017	3	16~17	プで足を滑らせてしまい、腰から落下し転倒した。その際に肩も打ったが特に異常は感じず、その後も勤務を継続していた。しばらくして左腕や左足にしびれを感じるようになり、慢性硬膜下血種と診断された。	74	371	1	~ 29
2017	3	14~15	ダンボールにのりをつけて箱に仕上げる簡易グルアー機を使っている時、チューブが外れ、のりが飛び散ったのでタオルで拭きとる際、誤ってタオルと右手がローラーとローラーの間に巻き込まれ負傷した。	22	224	7	10 ~ 29
2017	3	8~9	機械の糊ローラーの手前を手動ボタンを押しながら掃除をしていた時に、手動ボタンを強く押しすぎて、勢いよくローラーが回転し、右手が当たって手を切ってしまった。	33	169	8	100 ~ 299
2017	4	14~15	古紙プレス機において、スリット加工で発生したミミロス古紙をプレスしようとした際、古紙投入口よりはみ出した古紙を右手で押さえながら、左手でプレス下降レバーを操作した結果、右手を引き抜くことが出来ずにそのまま右手がプレスされてしまった。	36	169	7	50 ~ 99
2017	4	11~12	第3塗布棟内の塗布機巻き取り部において、粘着テープを生産中に発生した。塗布巻取約1,280Mの大巻品が完成したので、機械より搬送機におろし、大巻品の軸となっているエアシャフト（約20kg）を引き抜くときに腰に激痛がはした。	35	379	19	100 ~ 299
2017	4	19~20	袋の仕上げ工程で作業終了後に機械の清掃をしていたとき、平ベルトが回転している所にスイッチを切らず手を入れ、素手で接着剤のカスを取ろうとし、作業服の袖が巻き付き腕が巻き込まれた。	20	169	7	50 ~ 99
2017	4	16~17	当社工場内で作業中、ダンボール（3kg程度）を持って運んでいた時につまずいて転び、右足の踝を負傷した。	52	416	2	10 ~ 29
2017	4	10~11	手動の紙切機で紙を切っている時、刃を引っ掛けていた部分が外れて刃が落ち、右手に当たり負傷した。	56	364	4	30 ~

									49
2017	4	14～ 15	当社工場内で印刷機を使用し作業中、版に汚れが少しあったので汚れをふき取る際に機械に右手が挟まれ、右手の親指と人差し指の間を切った。	64	166	7			10 ～ 29
2017	4	11～ 12	工場でフォルダーグルアーと呼ばれる段ボール自動貼り機を操作しているとき、回転体の近くにあった段ボールに油汚れが付いている事に気づき、機械の電源を止めずに油汚れを拭き取ろうとして、回転体に左腕が巻き込まれた。	25	163	7			50 ～ 99
2017	4	18～ 19	当社工場の製函機の清掃中、アニロックスロールに付着していた汚れを除去するためにウエスを使用し拭いていた。ウエスがアニロックスロール（鉄）とインクロール（ゴム）の間に巻き込まれ、被災者はウエスを離すことができず左手親指の内側を切創した。	24	169	7			50 ～ 99
2017	4	11～ 12	折り機の調子が悪かったため現場リーダーに点検をしてもらっていた際、機械の電源を切り手でローラーを回しチェックしていた所、反対側にいた本人が紙が詰まりそうだったので、紙を取り除こうとした際にローラーとローラーの間に指を挟んでしまった。他の労働者が誤って起動スイッチを押してしまった。	30	163	7			30 ～ 49
2017	4	8～9	工場充填室にて、ダイカットロールのアンビルロールを紙ヤスリで磨いた後、ウエスで拭き取り作業をしようとした。ベンジンを浸み込ませたウエスがロールに張り付き、引き摺られて、ダイカットアンビルロールとロトリムロールの駆動カム部に右手が巻き込まれた。事故時、機械は稼働中で、安全カバーも取り外されていた。	42	169	7			100 ～ 299
2017	4	10～ 11	工場内のおしぼり製造機で作業中、パック機に不良品が入りそうになったので取り除こうと右手を入れたときにパック機が下りてはさまれ、下側の平ベルトは運いたままだったので摩擦でやけどした。	38	169	7			10 ～ 29
2017	5	14～ 15	当社事業所内において、1階製造現場内の、4号機給紙作業を終え、踏み台から降りる時に体のバランスを崩し転倒し、左足首及び脛、左腕を捻り負傷した。当日は大したことがないと思い、自宅に	53	371	1			10 ～

			て療養していたが、痛みが酷くなった。				29
2017	5	13～ 14	スリッピングワインダー機を清掃していたところ、テンションをコントロールするロールの間に右手を挟み、第一指～第三指を負傷した。ロールを駆動させながらロールをウエスで通常とは反対側（安全カバーが設置されている側）から拭いてしまった。	47	169	7	50 ～ 99
2017	5	11～ 12	当社工場内において、低成型機作業中にコンベアー上のドラムを取ろうとして滑ってしまい、右手が低成型機チャックを止める所に挟まり負傷した。	49	169	7	10 ～ 29
2017	5	14～ 15	会社内の箱製造機械にて、ダンボール箱を成型中に、新しく入った者を指導しながら作業をしていた為、足でスイッチを押すタイミングと手を抜くタイミングがずれてしまい、機械に右手示指を挟まれて負傷した。	33	169	7	1～ 9
2017	5	11～ 12	常駐者がいない第2工場内において、糊付けした段ボール（50cm×28.5cm）を、糊を接着させる機械（高さ1.2m×長さ6.65m）のベルトローラーに送る作業中、糊付け面を斜めに折って送ってしまったので、直すため引き戻そうとし、手袋をはめた左手を奥に入れたときにローラーに挟まれた。	49	169	7	30 ～ 49
2017	5	13～ 14	口糊部門にて、パレットに積んであった作業予定の封筒が入った段ボール（2箱が100cm×120cm、重さ約10kg）を、糊付けをする機械前まで運ぶと言う作業中に、縦に積んであった2箱の段ボールを素手のまま両手で持ち隣のパレットに運び、通路を作るため段ボールの移動を行った。通常通り運んでいたが、4箱を運んだあたりから右肩に違和感が出て10箱を運び終わった際にまだ違和感が残っていた為、肩をほぐそうと回したところパキッという音が鳴り、そこから痛みが強くなった。	44	921	19	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	製造された段ボールシートをパレットに載せ、ローラーで運搬中に左足を滑らせ、運搬用ローラーの隙間に左足が挟まった。	22	391	7	100 ～

									299
2017	5	8～9	工場内の古紙圧縮機の内部を清掃中に、コンベヤに引っ掛かっていた古紙を取り除こうとして右腕を出したところ、コンベヤに挟まれて右腕を骨折した。	56	224	7			1～9
2017	5	11～12	1Fケース製函機において、部品の破片を取り除こうとした際に誤って前部にある紙送りローラーに右手が挟まり受傷した。	50	169	7			300～499
2017	5	10～11	取引先にて納品作業中、2tトラックの荷台（高さ約1m）より誤って転落し負傷した。	46	221	1			10～29
2017	5	9～10	当社工場内において、原紙カッターロール機械にて紙おしぼりの加工作業中、カッターロール機械土台に付着した紙粉を拭き取ろうとして機械を停止しないで軍手をした右手で取り除こうとして、カッターロール部分に巻き込まれて、急いで右手を手前に引いたが間に合わずに右環指と右小指を挟まれた。	63	169	7			30～49
2017	6	9～10	貼合機で出来た材料（シート平板）を各印刷機に振り分け作業をする「自動搬送装置」の所で発生した。材料を待機させるために、手動による搬送装置で仮置き場に移動させる作業をしていた。材料が小ロットの為、ベルトコンベアの上に溢れてしまい、自動で各印刷機に振り分けている時間がない為、手動で材料を仮置き場に、一時待機とさせた。ベルトコンベアで足が滑り、隙間につま先を引っ掛け、体勢を立て直そうとしている内に仮置き場のレールと搬送装置との隙間に左足首を挟まれた。	21	229	7			100～299
2017	6	13～14	作業場として使用している倉庫内にて、ダンボールシートを貼り合わせるローラーの掃除中、電源が入っている事に気がつかなかった為、ローラーに右手が挟まり、人差し指・中指・薬指を負傷した。	37	163	7			1～9
2017	6	8～9	当社工場内において、作業の事前準備のためパレットを重ねる作業中、パレットを重ねようとパレットの角に足をのせた時、バランス	53	379	2			50～

			を崩して踏み外し、右足を挫いたものである。				99
2017	6	11～ 12	当社支店地下工場にて、印刷機の5番ユニットを洗い油にて自動洗浄中、ローラーの下の金属ローラーにゴミが付着していたので、右手人差し指を差し伸べて引っかけて取り除こうとしたところ、誤ってゴムと金属ローラーに指を巻き込まれて負傷した。	43	166	7	1～ 9
2017	6	8～9	作業服に着替えて控室から出ようとした時に、入口付近に置いてあった木製パレットに、誤って左足をぶつけてしまい負傷した。	51	379	3	10 ～ 29
2017	6	9～ 10	古着プレス機で古着をBOXに詰め込んでいる時に、右手で作業中、右手から目を離し、左に注意が行っていて、プレスがゆっくり下がっているのに、手を入れたままで気付くのが遅れ、BOXとプレスバーの間に右手を挟んでしまい、右手皮肉がめくれ、右手甲の一部を骨折した。	36	169	7	50 ～ 99
2017	6	19～ 20	倉庫内において、立ち乗りフォークリフトを運転中、作業が終わったので充電しようとした際、別のフォークリフトが既に充電していたため、そのフォークリフトの横につけようとしたところ、左足を外に出しながら運転していたため、運転していたフォークリフトと充電中のフォークリフトに挟まれ、左脹脛を骨折した。	49	222	7	10 ～ 29
2017	6	10～ 11	塗装工場2階のLCコート機にて、左手でレバー操作をしていたところ、上昇してきたフィルムのガイドに誤って右手中指が挟まれ、第1関節より上部を骨折した。	57	166	7	50 ～ 99
2017	6	17～ 18	倉庫内で保管している原紙を取り出す為に、手前の小原紙を手で移動させた後、リフトで動かし、小原紙を元の位置に戻す為、軍手を外したまま作業を行ったことにより、手が滑り、横の原紙で右手を打った。	31	529	3	300 ～ 499
2017	6	16～ 17	作業場の窓拭きをするため脚立に乗り拭いていたところ、バランスを崩して1m下に飛び降りた際、左足踵を強打した。	76	371	3	10 ～

									29
2017	6	16~ 17	当社工場内にて、プレス機のステン板の拭き作業をしている時、ローラーの上に水があるのを確認しようと思い手を置いた時、誤って右手をローラーに挟んでしまい、慌てて左手で機械を止めた。	19	521	7			30 ~ 49
2017	6	20~ 21	当社工場内の作業場で、面取り機による木箱（直方体30cm×11cm×8cm）の面取り作業中に、木箱を押さえていた左手が誤って滑り、機械の刃に接触して、左手第三指、第四指の指先部分の皮膚を損傷した。	58	139	8			30 ~ 49
2017	7	11~12	2Pグルアにてダンボールシート2枚を貼り合わせ1つのダンボール箱製造作業をしていた時、シートの流れが悪かったので機械の中に入りシートを送る作業補助を行っていたところ、誤ってローラに軍手が挟まり腕までまきこまれてしまった。	60	169	7			30 ~ 49
2017	7	4~5	午前中の事故に対する説明を同僚に指差し、2Pグルアの事故部分を説明していたところ、誤って、軍手が挟まれ腕までまきこまれてしまった。自力でローラーから抜き取り、応急処置を受け、入院した。	70	169	7			30 ~ 49
2017	7	10~11	BフルートからAフルートに替わる際、Aフルート片段を入れる時に発生した。原因は片段を入れる際に片段が切れそうになったため、左手で片段を上から押さえてしまい、そのままカンバスベルトと片段の間に挟まり左手が巻き込まれてしまった。安全装置（ワイヤー）を引っ張り自力で腕を抜いたが火傷をしてしまった。	39	169	7			100 ~ 299
2017	7	16~17	当社第二工場において出来上がった製品の、防湿のためのラップを巻く作業を巻取包装機で行っていた際に、紙の巻取（直径1m）を回転させながらラップを両腕いっぱい広げて巻取に掛けて、ラップの左端を巻きこんでいくように送り込んでいる時に右手側のラップのロールが動いてしまったためにそちらに気を取られた際に、左手示指を巻取と鉄のロールの間に挟み負傷したものである。	50	169	7			30 ~ 49
			被災者（技術社員・試用期間中）が残業中、チューバー機の糊洗い						

2017	7	19~20	に行く際、通路の配線覆いにつまずき転倒。左膝を強打したことにより、左大腿骨顆部を骨折、左膝内側半月板を断裂および右手関節を捻挫した。	34	417	2	30 ~ 49
2017	7	16~17	工場内乾燥機付近にて、リフトで乾燥機内の紙管の入れ替えを行おうとした際、紙管を取り出す際に妨げとなる2段積みパレット（製品積み高さ1750mm×2=3500mm）があったため、ハンドリフトで横へ移動させようとしたところ、上部の壁（3,470mm）にパレットの製品が当たり、約12ケース（12kg/ケース）が頭上より落下した。 （第四腰椎圧迫骨折）	47	611	4	10 ~ 29
2017	7	12~13	昼休憩後の午後からの作業をするために、自分の配置場所に向かおうとしていたところ、工場内原紙搬入口に原紙を積んだ状態のパレットの角に足が引っ掛かってしまい転倒、左ひざ部分を骨折したものの。	62	417	2	10 ~ 29
2017	7	17~18	工場内の機械設備（118B）横の通路に一時的に台車等を置いたままの状態になっていたため、十分なスペースが確保されていなかった。従って、この隙間を通り抜ける際に右足が何かに引っかかり、バランスを崩して左側面から倒れ、腰付近を強打した。その後、痛みが和らいできたのでしばらく様子を見ていたが、骨折が判明し、即会社へ報告した。通常、台車は指定された場所に置いてあるが、当日は中間決算棚卸の在庫確認のため、一時的に上記記載の通路に移動させていた故に通路に必要なスペースが確保されていなかった。	42	417	2	30 ~ 49
2017	7	15~16	得意先にて荷物を納品し、トラックに戻りそのまま意識を失う。得意先の事務員が異変に気づき救急車を呼び、入院した。熱中症と思われる。	59	715	11	10 ~ 29
2017	7	9~ 10	当社敷地内にある工場内において、パレットの上にある段ボールシートを作業台に載せようと屈んで持ち上げようとしたところ、腰	40	611	19	30 ~

			に痛みを感じた。				49
2017	7	8～9	ドライ工場入口のエアーカーテンが外れたため、プラッターのツメを上げ修理を行った。修理完了後、プラッターを移動させようとした際に足が滑り、プラッターのツメに脇腹をぶつけ、肋骨を骨折した。一人作業であり、フォークリフトのフォークに乗り、修理を終えてフォークから地上に降り、フォークを下げようとして運転席に向う途中に発生した事故である。	57	222	3	100 ～ 299
2017	7	13～14	木製品加工後、バリが出ていたため、簡単に取れると思い、軍手はずしてカッターで除去しようとしたが、思ったより硬く、もう一度力を入れて除去しようとしたところ、カッターの刃が滑ってしまい、その勢いのまま左手の平を切ってしまった。	43	364	8	50 ～ 99
2017	7	11～12	工場の外側から脚立を使用して窓の補強をしているとき、作業終了後に脚立を降りる際に、片足が地面に着いてバランスを崩し、左足を負傷した。	65	371	3	50 ～ 99
2017	7	13～14	製袋機の印刷部において、起動後の最低速度で動いているときに、印版胴の印版を留めているテープがはがれているのを発見した。機械を停止せずに左手で押そうとし、印版胴とインチローラーに挟まれた事故である。	37	166	7	10 ～ 29
2017	7	17～18	当社第2工場にて紙加工の作業中、紙コップ成型機の損紙排出口で、切り出された損紙が詰まったため、それを取り出す作業のとき、機械を停止すべきところ、作動状態のまま手を入れてしまい、損紙切断刃で右手人差し指先端を切断する怪我を負った。	46	169	8	10 ～ 29
2017	7	11～12	当社工場内において、ラミネーターを使用し、紙にポリエチレンを貼る作業中、ポリエチレンの押し出し幅を調整するため、ポリエチレンの出る部分に向かったときに、足を滑らせ転倒した。その際、右足がラミネーターを駆動しているチェーンに巻き込まれ、右足の踵付近を骨折した。	65	121	7	1～ 9
			作業場内のマスターブランカーデリバリー側にて、商品の積上げ状				50

2017	7	11～ 12	況を確認していた被災者の後方から、同僚が運転するリーチリフトの前輪右タイヤが被災者の右足甲部に接触した。	49	222	7	～ 99
2017	7	14～ 15	製袋作業中、横にあるギアがいつもとは違う音がしているような気がしたので、指で押さえたとき、鋭いギアに挟まれた。そのままでは巻き込まれると思い、指を引っ張ったところ、人差し指の先が挟まれた。	68	121	7	～ 299
2017	7	9～ 10	プレス機ベラー付近で作業をしていたとき、雑誌を運んできたフォークリフトに押され、ベラーピットに落下した。	48	222	1	～ 29
2017	7	14～ 15	工場内の印刷機駆動側横の通路と印刷機との間に、フロアーからマイナス35mmの段差があり、歩行中にその段差で左足を挫いた。	46	921	19	～ 99
2017	9	10～ 11	工場内紙袋を製造中に、不良品が機械に詰まった為、それを取り除こうとした時に誤ってドラム部分に巻き込まれてしまい、右手小指を負傷したものである。	38	169	7	～ 29
2017	9	15～ 16	派遣社員は、当社B棟プレス棟の投入口において碑も切の済んだ新聞をドライワイパー（床用水切り）を使用してコンベアに入れる作業を行っていた。作業中、足元の紙で滑って左足をひねり、しりもちをつき転倒した。後日、骨折が判明し、手術を受ける。	66	417	2	～ 49
2017	9	10～ 11	工場内でダイカットの作業中に慌てていて通常の作業とは違う作業手順で行った為、左手を機械に挟まれた。	68	169	7	～ 29
2017	9	19～ 20	製造機械に併設された、全高60cm、3段の金属性階段を上り、機械上部に置かれた金型メンテナンスに必要な工具を取りにいき、別の作業員へ工具を渡した後、階段から下りる際に左足を踏み外し、落下・転倒。その際に階段の角部分に自身の体重を乗せた状態で右足が接触、右足脛骨、腓骨を骨折した。	45	413	2	～ 299

2017	9	10～ 11	会社工場内の製品収納スペース内において、立ち乗りリフトで後進中、製品収納棚のフレームと右腕肘部分が接触し、フレームとリフトで挟まれた状態となり、右腕部分を負傷したものである。	22	222	7	～ 49	30
2017	9	23～ 24	加工の第一号ダイカッター機にて、ビスを外した木型を取り外すため、正回転用ペダルを踏めばローラーが元に戻り木型の取り外しが完了するが、この時に木型に右手を添えて逆回転のペダルを踏んでしまい上部ローラーとの間に右手を巻き込んだ、ペダルを外せば回転も止まるが、踏み続けた状態で右手を引き出そうとしたため負傷した。	21	163	7	～ 299	100
2017	10	15～ 16	印刷機の給紙部にて、シートの供給をされていて、空パレット排出時に、パレットが斜めになり、センサーが反応せず止まっていた。それを直しに行き、レールの上に足を置いたまま、パレットを寄せていた。その時、もう一人作業員Aが、次のロットの切替作業をしようと、後進ボタンを押したが動かないため、後ろに回って、被災者を発見した。被災者は、レールと車輪に左足を挟んだものである。	25	166	7	～ 49	30
2017	10	13～ 14	スリッター作業開始時に、一番左側の原紙が浮いたため、機械を停止せずに手で押さえようとした時、巻き取りシャフトと押さえローラーの間に手が入り、肘の部分まで巻き込まれた。	40	169	7	～ 29	10
2017	10	16～ 17	当社工場内において、製造した段ボールの移動作業中、中腰にてパレットに段ボールを乗せようとした際、バランスを崩し床に右手を突き受傷したものの。	43	611	19	～ 29	10
2017	10	13～ 14	当社工場1階作業現場において、平板打抜機（スーパープレス850）を使用して紙の打抜作業に取りかかるとき、機械に向かって左側に平行を失った状況になり、作動部分、後端部分に左手をついてしまい挟まれてしまった。赤外線式の安全装置は装備されていたが、最少の隙間で左手4指の先端を圧傷したものである。	18	169	7	～ 29	10
		11～	工場内の大型製品のり貼り機のライン真ん中付近にある回転軸部分に、のりが付着したため機械を稼働させたまま内部にもぐり、ウェ					10

2017	10	12	スでのりを拭き取ろうとした際、3cmほどのすき間にウェスが巻き込まれて、右手前腕部も一緒に挟まれて負傷してしまった。	49	169	7	～ 29
2017	10	9～ 10	工場から出来あがってきた段ボールケースがパレットに積まれて流れて来る場所で、フォークリフト担当者が出荷に必要な製品を取ろうと、ローラー上のパレットを手で押していた時、足元のストッパーに気が付かず、両足がストッパーに引っ掛かり前のめりになり、床に両手をついて転倒してしまった。	51	417	2	50 ～ 99
2017	10	15～ 16	社内にある製函1号機において段ボールシートが詰まったので停止して取り除く作業をしていた。しかし、もう1人のオペレーター（社内同じ部署）が移動しようと周囲の確認を怠り、運転ボタンを押した。左足を挟み指の付け根を痛めた。	56	169	7	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	工場内で作業中、高い所の物を取ろうと上にのぼった時に左ひざを捻った。左ひざが炎症を起こし水が溜まり、痛み止めロキソニンとシップで治療と安静。	63	379	19	1～ 9
2017	10	16～ 17	工場内製造現場オフセット輪転印刷機において、印刷ユニットのローラー洗浄を行った後のチェックを行っていた際に、ローラー付近にゴミを発見。ローラーが回転中であつたが、除去しようと手を出しローラーに巻き込まれ受傷。	36	166	7	100 ～ 299
2017	10	16～ 17	1日の仕事が終了し作業場の掃除をしていた時に立ち眩みを起こして作業場の床に設置してあるダンボール運搬用の大型ローラーコンベアのローラーの上に足を着いてしまい体を支え切れずに転倒した。当日そのまま帰宅したが夜になって腫れがひどくなった。左膝外側側副靭帯損傷の診断を受けた。	44	224	2	50 ～ 99
2017	11	15～ 16	回収先にて4tアームロール車の脱着式コンテナへの積込作業終了時、荷物の飛散防止用のロープを掛ける際、荷台の上でロープの処理を行っていたところ、足元のバランスを崩して落下し負傷した。	23	169	7	1～ 9
			事務所の作業所で、機械に紙のせ中に、回転しているローラーに近				

2017	11	16~ 17	い部分に手を近づけすぎたため、指を挟んでしまった。 ※封筒の製造 ※製造機200枚セットして機械に送る、ローラーと紙との間に指を挟む ※左手中指、第一関節から先を切断し、再生手術できる見込み	47	169	7	1~ 9
2017	11	16~ 17	印刷用コートボール310g（材料）幅850mm×流1150mmの寸法を幅815mm×流910mmに断裁の為作業をした。 1600枚断裁の予定でスタートし、100枚が1包装されている為重さは約30kgになる。 最初の1包装を開梱し100枚を一度に持ち上げた時に肩を痛めた。 改善、850×1150の寸法の紙は取り扱う材料の中で一番大きな紙寸法の為、今後は開梱後、半分の50枚で断裁するようにする。 これにより肩への負担がなくなる。 当初は休業がなかったが、後日入院することになる。	56	529	19	50 ~ 99
2017	11	16~ 17	会社工場1階のスパイラルマシンの製品受取場所にて、機械が一旦停止して、テーブルの上にある紙管を取り除く作業をする際、オペレーターがテーブルを戻す為に機械を動かした、その時右手小指が、紙管（製品）と切断用のコマ（切り芯）の間に挟まれてしまった。	60	169	7	10 ~ 29
2017	11	11~ 12	会社の食堂で昼食の準備をしている時に、みそ汁の容器（密閉されていた）が火にかかっているため蓋を開けようとしたら、圧力爆発して沸騰したみそ汁が身にかかる。 体は服で大丈夫であったが、右手と両足膝にかかり、特に膝はストッキングが癒着して、皮が剥がれた。	40	379	11	30 ~ 49
2017	11	13~ 14	本社工場内で段ボール箱を製造する過程で、箱の両端を接着する糊が排紙ローラーに付着した為、それを拭く為に回転しているローラーに触れた時に手が巻き込まれた。	27	163	7	30 ~ 49
2017	11	9~ 10	古紙回収先で古紙回収用のカゴを前に押している際、左足首に力が入ったと同時に左足首に激痛が走り、アキレス腱を負傷した。	41	921	19	100 ~ 299

2017	11	9~10	会社構内にて、積み込み作業中に、トラック荷台の荷物を並べるため地面から高さ約90cmの荷台に乗り込もうとした際に、アスファルトの地面に右半身から転倒した。ヘルメット、安全靴着用していた。	61	221	1	10 ~ 29
2017	11	16~17	印刷機で機械稼働中、紙片が機械内部に貼り付いていたので、それを除去しようとした際に、本来機械を停止させてから行うべきところを停止せずに手を入れてしまった。その結果、紙片と手が、インキローラーに挟まれ手の平までの怪我をしてしまった。	28	166	7	300 ~ 499
2017	11	16~17	当社工場内の箔押印刷機設置場所において、箔押印刷作業中、高温の押圧板と、受けの鉄板の印刷箇所の上に右手を入れた状態でフットスイッチを踏み込み怪我を負ってしまった。	57	166	7	10 ~ 29
2017	12	16~17	インクのローラーを掃除して、低速で機械を回転させながら、右手でローラーの下についた水をふいていた時、誤って左手をローラーに置いてしまい、手が巻きこまれてしまった。	48	163	7	1~ 9
2017	12	17~18	AフルートからWフルートへのフルート替えの際、一度挿入したB片面が切れていることに気がついた。速度が十分遅くなっていた為、止めはせず、B片面を左手で挿入させようとしたところ、手が奥まで入りすぎてしまい、キャンパスベルトと熱版の間に左腕が巻き込まれてしまった。	36	169	7	50 ~ 99
2017	12	1~2	クラフト紙袋製造ラインにて、向かって右側からベルトコンベアで流れてきた製品（クラフト紙袋の束）をベルトコンベアと繋がっている手動ローラーコンベアに流す為、製品の左端を左手で下から支えながらベルトコンベアの流れる速度を上げるボタンを自ら右手で押した所、ベルトコンベアの勢いに左手が流され、そのままベルトコンベアとローラーコンベアの間で挟まれ負傷した。	23	224	7	30 ~ 49
			被災者は、製函機の圧着コンベア昇降機能の動作不良の修理を行う事となった。昇降を行う駆動ギアの一部に摩耗が確認された為、駆動部の分解作業を開始した。分解の際に圧着コンベアの内側から固				100

2017	12	0~1	定されているネジがあり、そのネジを外す為、右腕を圧着コンベアの下にもぐり込ませ外したところ、落下防止用のウマ等の処置を行っていなかった為、圧着コンベアが約5cm落下し、右前腕をフレームとの間に挟まれ被災した。	30	224	7	~ 299
2017	12	13~14	段ボール加工製造ライン、ブランク検査装置で、段ボールシート搬送ベルトの汚れの拭き取り作業を行っていた。搬送ベルトを回転させたままウエスで汚れを拭こうとした時、ベルトロール軸に右手が巻き込まれ上下搬送ベルトの間に挟まれ被災した。	51	224	7	100 ~ 299
2017	12	10~11	本社工場内にて、全自動窓貼機の清掃作業に従事していた。停止中の機械のデリバリ一部の搬送台の汚れをウエスで拭き取っていたところ、搬送台の横に付いている搬送ベルト用のギアとチェーンの間にウエスを落としてしまった。ウエスが挟まり取れなかったので、左手で搬送ベルトの運転ボタンを押しながら右手でウエスを取ろうとした際に、ギアとチェーンの間に右手中指の先端が挟まり負傷した。	21	169	7	100 ~ 299
2017	12	16~17	工場で、紙管の切断機の回転軸に紙管を差し込み、ペダルを踏んでその紙管に切断刃（直径約10cm）を接触させて、紙管を切断する作業に従事していた。切断刃を紙管から離れたときに紙管を抜き取るべきところを、急いでいたために切断刃が紙管に接触した状態で紙管を左手で抜き取ろうとした結果、切断刃に左手中指が接触して、左手中指の第一関節左側面を切創した（5針縫合）。	41	169	8	1~ 9
2017	12	9~10	本社工場にて、圧縮した古紙に巻くための番線が絡まり、脚立（1.7m）へ上り補修作業をしていたところ、バランスを崩して転落し、首と腰を負傷した。なお、番線は約3mの高さの所に通っている。	36	371	1	1~ 9
2017	12	13~14	販売所の駐車場で、古紙回収作業後にトラックの荷台にシートを掛けている際、アオリの上（高さ約2m弱）から傾斜がある所に飛び降りて着地をしたとき、左足踵を強く打ち負傷した。	38	221	3	10 ~ 29

2017	12	11~12	8号ワインダーの清掃・メンテナンス作業中に、糊付け回転部の駆動ギアおよびチェーンのグリスアップの際に、糊付け回転部を回したまま、付けすぎたグリスを拭き取ろうとして、駆動ギアとチェーンの間に巻き込まれて被災した。	20	169	7	100 ~ 299
------	----	-------	---	----	-----	---	-----------------

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html